

# 電気設備標準系統図

- ※全電化住宅および電気温水器、電気式床暖房を使用する住宅は、時間帯別電灯契約となります。
- ※電気温水器を設置する住宅で、屋外自立引込盤から分電盤までの距離が長く幹線の電線が太くなる場合は、屋外自立型引込盤内に漏電遮断器を取り付け、別ルートで配線しても良いこととします。（-----線部分）
- ※電力ヒューズは北陸電力(株)で設置します。分岐箱から屋外自立型引込盤までの配線（配管は既設）も北陸電力で施工します。
- ※引込み口開閉器（屋外自立型引込盤内）は積算電力計の二次側に取り付けて下さい。
- ※幹線は分電盤までの全て配管工事（FEPまたはHIVE、宅内はPF管等）を行い、電線はCVケーブルまたはCV-Tケーブルを使用して下さい。
- ※幹線が長く通線に支障があると思われる場合は、点検が容易にでき、かつ、目立たない場所に中継ボックスを設けてください。

